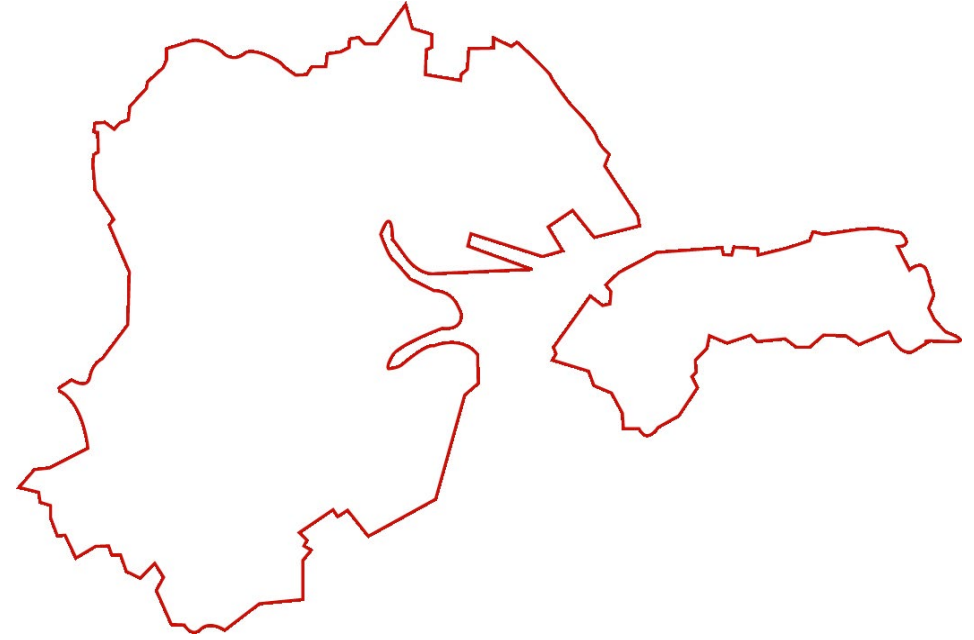


令和6年度 南西地域部会 活動計画



社会福祉法人浦安荘
支援センター・コンドル
主任相談支援専門員 前田 茂男

R6.3.22(金)

岡山市障害者自立支援協議会 全体会

令和6年度 部会運営について

- ① コア会議 ・ ・ ・ 相談支援機能強化事業所 + 岡山市児童発達支援センター
4事業所：4名
ひらた地域活動支援センター・岡山南障がい者相談支援センター
支援センターコンドル ・わかくさ学園いちご

○開催：2回+ α /年 <部会の年度計画に関する協議>

- ② 運営会議 ・ ・ ・ 相談支援機能強化事業所+岡山市児童発達支援センター
4事業所：8名

○開催：1回/月(第2金曜日) *定例会後開催

南西エリアの相談支援体制を強化と継続した人材育成を担保

- ・事業所レビュー、ケースレビュー及びGSVの点検評価
- ・地域課題の抽出ツールの点検評価
- ・相談支援の質の向上につながる研修会の企画
- ・開催場所の見直し



南西地域部会の開催頻度と事業所数

○毎月（第2・第4金曜日）＊24回/年

○参加事業所

岡山市障害者基幹相談支援センター・

南西エリア相談支援事業所 23ヶ所

（北・中区事業所2カ所含む）

早島地区 3ヶ所

玉野地区 2ヶ所

計29事業所

○場所：西ふれあいセンター

* 参加人数に応じて会場の変更あり

令和6年度活動内容（4つの土台）

① 事業所レビュー・ケースレビューからの地域課題の抽出・・・第2金曜日

相談支援業務の振り返りや、その他必要な情報や知識をタイムリーに共有。地域課題の抽出として「問題」と「課題」の違いを意識した解決プロセス（問題認識・現状分析・課題の明確化等）の定着。

また相談支援初任者等がグループワークで自由に発言できるように討議のルールを構造化するための統一書式（ツール）を活用する。

② 人材育成・質の向上を目的にしたグループスーパービジョンの定着・・・第4金曜日

岡山県相談支援従事者研修の事例検討スタイルを踏襲。支持的環境の中で、複数の視点により業務を振り返り、相談員の気づきを深め困り感の軽減や相談支援の質の向上に繋げる。

* 初任者等の自由な発言の阻害要因にならないためにGSVで用いる事例提供者は輪番制とし参加者の負担を軽減する。

令和6年度活動内容（4つの土台）

③ ミニ研修会の実施・・・1回/年

現場の声や事業所レビューから出た疑問に対し、知識と連携のための専門知識を深め専門員のスキルアップを図る。

④ 事業所支援活動・・・毎月（相談支援機能強化事業との連動）

南西エリア内の相談支援事業所を4つの小グループに区分けし、相談支援機能強化事業所が各事業所へ出向き現場の中でケースレビューとスーパービジョンを展開し、各相談支援専門員の困りごとに向き合い・抱え込み・困り感を軽減する。また相談支援事業所が相談員を増員できるよう人材育成に関する事業所支援を行う。

令和6年度活動内容（4つの柱）

① サビ管との連携強化（サビ管・相談支援専門員合同意見交換会：年2回開催）

サビ管の能動的な活動が保てるようコアメンバーを中心とした協議の場を継続。サービス等利用計画と個別支援計画の連動を意識する。

② 地域移行支援事業への取り組み（地域移行を推進する会議：毎月）

地域移行支援と計画相談支援の役割を実践で積み上げ南西エリアでも対応できる事業所を確保する。南西地域に即した地域移行支援に関するシステムを構築するために、入所施設職員への参加を促し、施設からの地域移行をより意識していく。

また各地域での課題や今後の取り組みに必要な意見交換のため各地域部会WG合同会議（4回/年）を開催。

令和6年度活動内容（4つの柱）

③ 地域生活支援拠点の有効的な活用（南西地域生活支援拠点運営連絡会）

緊急対応、体験利用、地域づくり、人材育成など総合的視点から複合課題の取り組み方を模索。面的整備を充実させ、誰もが困らない地域づくりを目指す。

④ 日中サービス支援型グループホームの評価（4事業所/年）

グループホームが地域に開かれたサービスとして根付き、質の確保を図る観点から、双方向の対話によって地域が望んでいる資源となるためのニーズや要望を届け適切な支援の向上に寄与できるよう努める。